

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	文学	担当教員	中島泰貴		
学年学科	2 年次全専攻	後期	選択	2 単位	
学習・教育目標	(A-1) 80% (C-1) 20%		JABEE 基準 1 (1) : (a) (f)		
授業の目標と期待される効果： 世界各国の歴史、文化、風土、習慣を理解し、他者・他国の立場を尊重できる、広い視野に基づく倫理的判断力を養うために、その大前提となる自国の歴史・文化・風土に対する理解力を養う。中でも、自国文化の礎となった古典の韻文についての基礎的能力を身につける。 取り上げる作品は、現代に至るまで広範な影響力を有する『百人一首』である。		成績評価の方法： 期末試験 100 点＋平常試験 100 点＋課題提出 100 点とし、総得点率 (%) によって成績評価を行う。なお、成績評価には教室外学習の内容が含まれる。 達成度評価の基準： 授業時に配布するプリント、また講義中に触れた事項についての理解度を、試験出題や課題内容で確認し、6 割以上の正答レベルまで達していること。成績評価への重みは均等である。 ①日本文学の特質を理解できている。 ②日本の文化、習慣、風土等の特色を理解できている。 ③文学史に関わる術語・重要語について、ほぼ正確に説明できる。 ④和歌の基本的な読解ができる。 ⑤自分の考えを適確に表現することができる。			
授業の進め方とアドバイス： 授業は、配付資料と板書を中心に行う。また文学にとどまらず、日本の伝統的文化に関する話題を豊富に提供する予定なので、これらについて日常的に関心を養ってもらいたい。					
教科書および参考書： 教員が作成したプリントを配布する。					
授業の概要と予定：前期			教室外学修		
第 1 回：ガイダンス：和歌とは何か			1～7 番の歌意と歌人について調べる。		
第 2 回：『百人一首』読解～『万葉集』の時代～			8～15 番の歌意と歌人について調べる。		
第 3 回：『百人一首』読解～六歌仙と詠み人知らず～			16～24 番の歌意と歌人について調べる。		
第 4 回：『百人一首』読解～流刑となった歌人たち～			25～29 番の歌意と歌人について調べる。		
第 5 回：『百人一首』読解～古今集以前～			29～38 番の歌意と歌人について調べる。		
第 6 回：『百人一首』読解～勅撰集と撰者～			39～50 番の歌意と歌人について調べる。		
第 7 回：『百人一首』読解～歌合という場～			51～55 番の歌意と歌人について調べる。		
第 8 回：『百人一首』読解～一条朝の和歌～			56～65 番の歌意と歌人について調べる。		
第 9 回：『百人一首』読解～紫式部のライバル達～			66～70 番の歌意と歌人について調べる。		
第 10 回：『百人一首』読解～異端の歌人たち～			71～73 番の歌意と歌人について調べる。		
第 11 回：『百人一首』読解～歌論と歌道 1～			74～76 番の歌意と歌人について調べる。		
第 12 回：『百人一首』読解～歌論と歌道 2～			76～83 番の歌意と歌人について調べる。		
第 13 回：『百人一首』読解～武者の世の中の和歌～			84～90 番の歌意と歌人について調べる。		
第 14 回：『百人一首』読解～『新古今集』時代～			91～100 番の歌意と歌人について調べる。		
第 15 回：『百人一首』読解～京と鎌倉～			近代の受容について調べる。		
期末試験			—		
第 16 回：フォローアップ（期末試験の解答の解説など）			—		